



「てんちょ」です！
今年もありがとうございました！

ヤッホーブルーイング社長・井手直行に訊く

「てんちょ」とは何者か？

てんちょのことがまるわかり特集

よなよなエール“愛の伝道師”てんちょのプロフィールを紹介！



株式会社ヤッホーブルーイング 代表取締役社長 井手 直行 (57歳)

1967年(昭和42年)生まれ。ニックネームは「てんちょ」。国立久留米高専を卒業後、電気機器メーカー、広告代理店などを経て、1997年ヤッホーブルーイング創業時に営業担当として入社しました。地ビールブーム終焉の後、再起をかけた2004年楽天市場店の店長としてネット通販事業を軸にV字回復を実現。通販担当を経た後、2008年に代表取締役社長に就任しました。

ニックネームの由来は？

スタッフやファンの方々の間で呼ばれている「てんちょ」というニックネームの由来は、よなよなの里楽天市場店で店長を務めていたことから。スタッフも「社長」と呼ぶことはなく、「てんちょ」とフラットに呼ぶ会社です。

趣味

釣り・アコースティックギター・軽登山・ウォーキング・スノーボード……
つまりはアウトドア全般大好きです！
現在は子供が生まれて家庭が中心になったので留守中。



「一番よなよなエールは、ネイビーだけ着る理由は、白と黒のコントラストから。」

てんちょのよなT

出社はよなよなエールTシャツのネイビーが基本。ほぼ毎日着ています。現在家にはネイビーが11着あります。

内訳 新品4枚、外出用が3枚、オフィス用が2枚、汚れてもいい作業用2枚

てんちょといえば…… 個性的な衣装！?

～てんちょの思い出話を聞いてみた～



ももきよ

裏面では、てんちょの思い出話をいくつか聞かせてください！
てんちょといえば、いろいろな授賞式で「衣装」をしているイメージがあります。歴代の衣装写真を集めてみましたが、こうしてみると、とにかく個性的な衣装ばかりでどの授賞式も楽しそうですね！
なぜてんちょは衣装をするようになったのでしょうか？

はじめての衣装は2008年の楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー授賞式でした。衣装したエピソードをホームページに載せたら、お客様からの反応が非常に良く、気づいたときには恒例行事に。お客様に楽しんでもらおうと、とにかく必死で取り組んでいたのが、毎年衣装のレベルが高くなっていきました。衣装の衣装はスタッフが試行錯誤してその場に合った衣装を手作りしてくれます。できるだけコストを抑えるために、衣装道具の材料は自社ビールの段ボールなどを使うことも！
「今年のてんちょはどんな衣装かな？」と季節の風物詩のように楽しんでくれる方もいらっしゃるみたいですね。ももよなエールに注目してほしいという思いももちろんあったけど、お客様に喜んでいただきたい、そして感謝を伝えたいという気持ちで衣装を始めた原点。見る人にはただ笑っていただければいいんですが、こう見えて結構真剣にやっています。



てんちょ

ジュンジュン | 懐かしいな～

てんちょの歴代衣装をチラ見せ！

2010年度賞式

2011年度賞式

2012年度賞式

2013年度賞式

2014年度賞式

2015年度賞式

2016年度賞式

2012年 新経済連パーティ

2015年度賞式

2014年 月間優勝

2022年 日経優秀商品・サービス賞

2022年 ドンダバダ発表会

はじめての衣装はスノーボーダー

いきなり大舞台での衣装……

はじめての衣装はスノーボーダー

長野県からきた会社であることを伝えるべく、スノーボーダーの衣装で授賞式に向かいました。とにかく怒られないかドキドキ。そうしたら、やっぱり受付で早速注意されてしまい、怒られながらも勢いで登場しました。はじめは怒られましたが、気づいたときには「今年も衣装しますよね？」と受付の方から着替えるために控室をご案内してもらえぐらい恒例行事となりました。今でも衣装する場合はバリエーションで衣装しますよ！

てんちょの思い出のビール

「よなよなエール」が一番思い出深い製品ですが、今回はあのビールの思い出話をさせていただきます。

どのビールもいろいろなエピソードを思い出しますが、今回は「前略 好みなんで聞いてないぜ SORRY(以下、前略シリーズ)」が誕生した時の話です。

こんなに名前が長すぎるビール売れますか？

今でも正式名で呼ばれることが少ない前略シリーズ。「こんなに名前が長すぎるビール売れますか？」とスタッフも不安そうだったけど、この名前しかないと決まりました。とがったビールを出したい。「好みなんで聞いてないぜ」という思いを表現し、これだけだと突っ張りすぎているので「前略」と丁寧に、あとで「SORRY」と謝ってました。製品名が誕生したときは開発チームみんなでゲラゲラ大笑いしたのがいい思い出。「こんなネーミングを製品にする会社はなかなかないよ」とみんな大満足の製品名が生まれました。

名前は正直覚えてもらわなくてもいいんです。名前を覚えてもらえないのに売れるビールって今でも凄いなと感動します。ちなみに他の案でイチオシだったのは「前略ビール屋の祝い」。結構お気に入りでしたが、飲み物に「祝い」と名付けるのはあまり良くないねということで、ポツリになりましたね。

※前略 好みなんで聞いてないぜ SORRYシリーズは現在販売していないものもあります。詳しくはよなよなの里でご確認ください。



其ノ一 米酒SAKE仕立てストロングエール
其ノ二 うま味一番だしアロマ仕立てホワイトIPA
其ノ三 黒五インリアルポーター～風物産仕立て～
其ノ四 セッション柚子エール～あら電仕立て～

実は初代ライター!? てんちょのメルマガジンに愛のクレーム

よなよなの里のメルマガジン(以下、メルマガ)を読んだことはありますか？
ほとんどのメルマガライターの小話からはじまり、編集後記も小話を書いて締める、ちょっと個性的なメルマガが特徴的です。

実は、てんちょがよなよなの里楽天市場店で店長を務めていた時からこの特徴的なメルマガがスタートしているんです。てんちょは当時どんなメルマガを書いていたのでしょうか？

最初はごく普通の製品を紹介するメルマガを書いていたのですが、配信停止のお客様が増える一方で頭を抱えていました。困り果てた私は、当時人気だった別のお店のメルマガを見ていたら、商品の宣伝ではなく店員さんの日常が面白く書かれており、読み終えたときにはお店のファンになってました。「自分もこんなメルマガを書きたい」と思って、早速自分なりに書いてみたところ、「今回のメルマガは面白い」と今までになかった反応が返ってきました。そして新しい手ごたえを感じ始めてはいたものの、一方で率直に「面白くない」という反応もありましたね。そういったお客様に対してはもう正直に伝えるしかないと思って、「今はメルマガのあり方を模索しているの、もうすこしやらせてほしい」と丁寧に返信をしていました。そこまで正直に伝えていくと、「大変なんだな。そんなに真剣なら応援するよ」と言ってくれたように。

ただ一人だけ、ずっと納得してくれないお客様がいました。厳しい内容に対して何度か真剣にお詫びをしていたのですが、連絡を続けていくうちに、気が付くとお詫びの内容がどんどんアドバンスに変わっていくことに気づきました。「今回のメルマガは上から目線で気に入ります」というように、添削してくれているような関係になり、内容が愛のクレームになっていったんです。しばらく続いたそのお客様とのやり取りも、その後次第に頻度が減っていき、ついにはメルマガも届かなくなりました。ところが、2年ほど経ったある日、突然「今度経井沢に遊びに行きます」というご連絡が！ サプライズで会いに行ったら、お客様はびっくりしながらもとても喜んでくださり、感動の再会になりました。今でもこのときの体験が忘れられないです。私のお客様対応の原点になっています。

メルマガにこんな歴史があったんだ!



てつこ

編集後記

今回てんちょ特集をするにあたって直接てんちょにインタビューしました。どの質問にも、楽しく回答してくれて笑いの絶えないインタビューでした。とくに思い出話に花が咲くと、よなよなマガジン1年分ぐらい話をしてくれるので、またてんちょ特集があるかもしれない。てんちょの人柄やヤッホーブルーイングへの思いが皆さまにお伝えできれば幸いです。

本にもっと私のことが詳しく書いてあります！是非読んでみてね！

<参考文献>
井手直行「おれ、よなよなエールがお世話になりましたーくだらないけど面白い経験で社員もファンもチームになった話」 東洋経済新報社 2016年

